



へきなんの図書館がすすめる夏休みの本（1・2年生向き）



図書館（本館・分館）におすすめの本のコーナーがあります。自由研究や工作の本もあります。ぜひ、図書館にきてね！



図書館の利用者カード
をもってるかな？

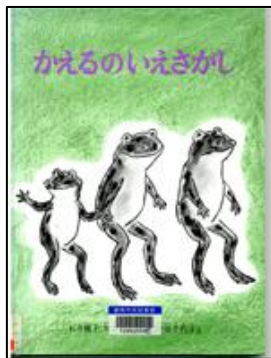
カードを作りたい人は、自分の住所が確認できるもの（医療費受給者証、水族館パスポート、マイナンバーカードなど）をもって図書館にきてね！
本10冊、AV資料（紙芝居、おもちゃ、DVD、CDなど）5点、雑誌5冊までを15日間、借りることができます。
カードは無料で作れます。（カードを再発行する時は100円かかります）



『かえるのいえさがし』

石井 桃子／さく 川野 雅代／さく
中谷 千代子／え 福音館書店（エナ・カ）

夏のあいだ、田んぼでたのしく、くらしていたかえるのおやこ。秋になって冬ごもりをするあなをさがしに行きますが、どのあなにも、先に冬ごもりをしているかえるや、とかげがいて入れません。



『ちからたろう』

いまえ よしとも／ぶん たしま せいぞう／え
ポプラ社（エタ・チ）

じいさまとばあさまのこんび（体のあか）から生まれたちからたろう。作ってもらった大きなかねのぼうをもって、人をたすけるための旅に出かけました。とちゅうで仲間もできて、ずんずん歩いていくと…。



『うなぎのうーちゃんだいぼうけん』

くろき まり／ぶん すがい ひでかず／絵
福音館書店（エス・ウ）

みなみの海でうまれたうなぎのうーちゃん。うーちゃんはせいちようしながら、海から川へ、そしてまた海へと旅をつづけます。



『ヘビのひみつ』

内山 りゅう／写真・文 ポプラ社（487へ）

ヘビはどうやって木のぼりするのかな？ 自分の顔より大きなえさをどうやって食べるのかな？



『かもめたくはいびん』

いしい ひろし／著 白泉社（エイ・カ）

空をとんでももつをとどける「かもめたくはいびん」にペンギンがやってきました。空をとべないペンギンにどうやってはたらいてもらおうか、しゃちょうさんは、なやみますが、ペンギンが泳げることに気がついて…。



『ねずみのとうさんアナトール』

イブ・タイタス／文 ポール・ガルドン／絵
童話館出版（エガ・ネ）

おくさんと6人の子どもたちとくらすアナトール。ある家で食べものをさがしていたら、人間がねずみのわるくちを言っているのをきいて、ざんねんな気持ちになります。



『しぶがき ほしがき あまいかき』

石川 えりこ／さく・え 福音館書店（913イ・シ）

しぶがきは、そのままでは食べることができません。でも、まほうをかけるとあまくなって食べることができると、ちえちゃんのおばあちゃんは言います。どんなまほうをかけるのかな？



『にんじゃにんじゅうろ』

舟崎 克彦／作 学習研究社（913フ・ニ）

にんじゃの家のひとりむすこ、にんじゅうろ。ある日、がっこうからかえったら、いつもと家のようすがちがう。父上と母上がじぶんをためそうとしているにちがいない！



『しんばいながことがありすぎます！』

工藤 純子／作 金の星社（913ク・シ）

ももは、1年生になってからわすれものをしたことがありません。しんばいで、きょうかしよもノートもぜんぶランドセルに入れてからです。ほかにもしんばいながことがたくさんあって…。1年生ってたいへん！



『二年二組のたからばこ』

山本 悦子／文 童心社（913ヤ・ニ）

おとしものが多いたからくんのおとしものをいれる「たからばこ」。たからくんのとなりのせきになったみなは、いつも何かを「かして」と言われ、いやになってしまいます。おかあさんにそうだんすると…。



『ポリーとはらぺこオオカミ』

キャサリン・ストー／作 岩波書店（933ス・ポ）

はらぺこのオオカミは、なんとかしてポリーを食べようとしますが、ポリーに先回りされて、にげられてばかり。かしこいポリーとオオカミのおはなしが7つ入っています。



『わたしのおかあさんは世界一びじん』

ベッキー・ライアー／さく 大日本図書（933ラ・フ）

ワーリャは、おかあさんと、はぐれてしまいます。村の人に「わたしのおかあさんは世界一びじん」と言ったので、村中のびじんが集められました。でも、ワーリャのおかあさんはいません。

